

歴史学の再生

11/12^土

① 13:00-14:30

縄文草創期の暮らしと環境を復元する

長井謙治 ● 本学・歴史学科准教授

このセミナーでは、多様な縄文化プロセスを検証するために、自然科学者と連携して実施した北町低湿地遺跡の過去5年間の学術発掘調査の歩みを紹介します。日本最古級の湖畔集落址からローカルな環境変化を導き、約12,000年前の人類の地域的適応について最新技術から解き明かします。



Kenji Nagai

絵巻物に歴史を読む

② 15:00-16:30

松園 齊 ● 本学・歴史学科教授

日本の中世に数多く作成された絵巻物は、鑑賞し楽しむだけのものではなく、当時の社会の中でさまざまな機能を果たしていました。本セミナーでは、『年中行事絵巻』などの場面を紹介しながら、当時の他の史料なども駆使して、絵巻物作成の歴史的背景を探っていきます。



Hitoshi Matsuzono

11/19^土

③ 13:00-14:30

ふたつの長安

松下憲一 ● 本学・歴史学科教授

陝西省の西安市は、かつて前漢の長安であり、また唐の長安でもありました。ともに長安と名前はおなじですが、都市の規模や機能はまったく異なります。このセミナーでは、ふたつの長安の違いを明確にしたうえで、違いが生み出された要因を、漢と唐のあいだの時代に活動した五胡十六国・北朝という遊牧王朝の影響から考えます。



Ken-ichi Matsushita

イギリスと日清戦争

④ 15:00-16:30

小林隆夫 ● 本学・歴史学科教授

日清戦争のイメージとは、日清両国が朝鮮を巡って争い、勝利した日本が講和条約で遼東半島や台湾などを獲得したが、独仏口三国干渉にあってやむなく遼東半島を返還した、というものでしょう。しかし、その背景にはヨーロッパ列強の複雑な勢力抗争がありました。このセミナーではイギリスを中心とした日清戦争の国際的舞臺裏を探っていきます。



Takao Kobayashi

日時

2022年11月12日^土・19日^土

①③ 13:00-14:30 ②④ 15:00-16:30 (開場12:30)

会場

愛知学院大学名城公園キャンパス
キャッスルホール明倫 (定員185名、先着順)

〒462-0846 愛知県名古屋市北区名城3-1-1 地下鉄名城線「名城公園」下車徒歩1分



AICHI GAKUIN
UNIVERSITY

対象:どなたでも参加できます(中高生歓迎) **入場無料** 事前申込不要

お問い合わせ先 ● 愛知学院大学文学部歴史学科 ☎0561-73-1111(代) E-mail: rekisi@dpc.agu.ac.jp
歴史学科HP <http://www.flet.agu.ac.jp/information/history/news/>
愛知学院大学HP <http://www.agu.ac.jp/>